

# Pichant ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第28号

## ななえ古写真物語

VOL. 28

### 草木を育む

~七重官園草花園~

明治6~14年頃

七重小学校前庭



先月に続き、またしても七重小学校に関する写真を紹介することになったが、ご勘弁してほしい。

写真を見ると、のどかな雰囲気です。園芸に勤んでいる様子が伺えるが、実はこの場所、七重小学校の前庭と考えられている。時代の頃は、明治6年~14年といったところだろう。当時、七重小学校のある場所には、明治政府の機関である開拓使の運営する試験農場（通称：七重官園）事務所が設置されていた。そこでは、西洋農法を取り入れた農業・林業・酪農・勸業など多角的な事業を展開し、果樹苗木や草木などを培養、周辺人民に売り下げていたという。

明治14年に刊行されたという『開拓使事業報告第2巻之内 七重勸業試験場』をみると、明治6年にヒマワリや金魚草、ホウセンカ、天人菊、矢車草など29種の植物を東京青山試験場より移し、後年、少しずつ国内外の種を取り寄せて植え、植物（草花）見本園にしたことが記されている。

また、この報告より少し前に七重官園から刊行された『明治十一年 開拓使七重勸業試験場一覧表』によると、草花園の面積が六段四畝二

十三歩と記されていることから、およそ6,350㎡の広さをもっていたこと、また、草花園のほかに樹木の培養も行われていて、約240種にのぼる植物を栽培していたことがわかる。

そして、さらに驚くことに草花園ではガンコウラン、シラネアオイ、アズマギクといった高山植物や、ヤナギラン、エゾオオバコ、ダイオウ、ヒカゲノカズラといった山草まで栽培していたという。全国的に、高山性植物の栽培が本格的になったのが明治末期といわれる中、それに先駆けてひっそりと（かどうかはわからないが・・・）育まれていたことを考えると、七飯町は果樹だけでなく草花にいたるまで歴史の深い町なんだなと思ってしまう。

現在、七飯町歴史館の周囲には、江戸時代に七重村へ設置された幕府直轄の植物見本園「七重村御薬園」と今回紹介した「七重官園草花園」にあやかって造成した「野草園」がある。ここでは、かつてななえで栽培していた植物などを育成しているのだが、雑草とりや冬囲いなど、一筋縄では管理できない。先人たちの労苦が偲ばれると同時に、野草園の管理をしていただいている当館友の会には深く感謝したい。

## 13日

今年度最後になる夜の博物館「ななえの伝説について考える」が開催されました。七飯町に伝わる伝説をいくつか紹介しながら、なぜこのような伝説が話し継がれてきたのか、伝説が持つ影響力などについて学芸員から話されました。受講者の皆さん、夜遅くにもかかわらず毎回ご参加いただき、ありがとうございました。



資料を熱心に見る受講者

## 7日

野鳥に詳しい講師を招いて、冬の探鳥会を開催しました。



最初に、大沼国際セミナーハウスに設置されているバードテーブルを観察し、シジュウカラやゴジュウカラなどを見ました。その後、資格を持っていなければ出来ない、野鳥に足輪をつける様子を特別に見せてもらい、参加者の皆さんはじっと見入っていました。



皆さん見入っています。



もうきん類を見るためにバスで移動したのですが1カ所目のポイントでは見ることは出来ず、セバットに移動。ここでも、もうきん類は見当たらない...と思ったのですが、遠くの木にとまっているオオワシを発見！スコープで見るとはっきりと見え、参加者以外の方も興味を示し、スコープを覗いて感激...という場面もありました。

## 27日

21年度最後のジュニア探検クラブでは、1年間の活動の記録をまとめた文集を製本する作業をし、その後、閉講式を行いました。当館館長からひとりずつ修了証が渡され、そして、友の会会長から祝辞をいただきました。

最後はみんなの前で一言ずつ挨拶を、いろんな体験をして勉強になった。などそれぞれの思いを話してくれました。これからも歴史館に遊びにきて下さいね！

のりづけ中



### AED講習会と避難訓練を実施しました。

歴史館職員と友の会そして七飯町郷土史研究会でAED講習会と避難訓練を実施しました。七飯消防署の方に指導していただき、緊急時に備え真剣に学びましたが、これを活かすことのない日々を願っています。



消化訓練の様子

5月の休館日はありません。

### 五月飾りを展示しています

友の会の皆さんが常設展示室に五月人形とこいのぼりを飾ってくれました。いまにも泳ぎださそう?!(A)



### 編集後記 ~tawagoto~

春です。それはイコール出会いと別れの季節といえます・・・というので、今年も職員が変わったり減ったりしました。今まで、当館職員として尽力されてこられた2名の方には、心より御礼申し上げます。本当にお疲れ様でした。

毎年、この時期に思うのは、年月を重ねる度に自分が古株になっていくということ・・・。口を開けば厳しいことしか言えないので、今年は寡黙になるうかと企んでみたりする・・・。(やまだひさし)

# Richard

~ピチャリ~

第28号

平成22年4月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp